

学習指導要領		都立国分寺高校 学カスタンダード
<p>(1) 原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 歴史と資料</p> <p>遺跡や遺物、文書など様々な歴史資料の特性に着目し、資料に基づいて歴史が叙述されていることなど歴史を考察する基本的な方法を理解させ、歴史への関心を高めるとともに、文化財保護の重要性に気付かせる。</p> <p>イ 日本文化の黎明と古代国家の形成</p> <p>旧石器文化、縄文文化及び弥生文化の時代を経て、我が国において国家が形成され律令体制が確立する過程、隋・唐など東アジア世界との関係、古墳文化、天平文化に着目して、古代国家の形成と展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p>	<p>○「文字史料を読む」「歴史資料にふれる」「米と稲作文化」「日本列島の東と西」などのテーマ学習を一例にし、歴史の考察について理解させる。</p> <p>○人類の誕生から旧石器時代を経て縄文時代に至る過程を、当時の人々の生活をたどりながら、自然環境との関わりのなかで文化や社会がめばえ、しだいに「日本人」としての形成をとげていったことを理解する。</p> <p>○弥生時代から古墳時代に至る過程を、朝鮮半島や中国から、農耕技術などの物的・人的な摂取につとめながら、地域を統合し、しだいに小国・邪馬台国・ヤマト王権へと国家を形成していくことを理解する。</p> <p>○ ヤマト王権の動揺から壬申の乱に至る過程を、隋・唐など東アジアの周辺諸国の強い影響をうけながら、推古朝の政治・大化の改新を経て形成される律令国家を天皇による豪族・公民支配の完成として理解する。</p> <p>○ 平城京造営から光仁天皇の即位までの過程を朝廷による領土の拡大や、公民支配の完成、奈良期の政争などの動向に注目しながら、唐などの東アジア諸国の影響を強くうけた律令国家が完成していく姿を理解する。</p> <p>○ 唐の影響を強くうけた国際色豊かな、国家仏教を大きな特色とする天平文化が生まれたことを理解する。</p>	

学習指導要領		都立国分寺高校 学カスタンダード
<p>ウ 古代国家の推移と社会の変化 東アジア世界との関係の変化、荘園・公領の動きや武士の台頭など諸地域の動向に着目して、古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽^{ほころび}について考察させる。</p> <p>(2) 中世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>中世の日本と東アジア</p> <p>ア 歴史の解釈 歴史資料を含む諸資料を活用して、歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を考察するなどの活動を通して、歴史の展開における諸事象の意味や意義を解釈させる。</p> <p>イ 中世国家の形成 武士の土地支配と公武関係、宋・元などとの関係、仏教の動向に着目して、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p>	<p>○平安京造営から摂関政治までの過程を、社会の変化や、東アジア世界との関係の変化、荘園の成立や武士の発生などの地方の動向に着目しながら、古代国家の推移と唐風文化・国風文化の展開について理解する。</p> <p>○院政から平氏政権までの過程を、荘園公領制の確立や武士団の形成、保元の乱・平治の乱などの動向に着目しながら、武士団の台頭について理解する。</p> <p>○鎌倉幕府の成立から執権政治の展開までの武家政権の形成過程を、武士の土地支配、公武関係などに着目するとともに、鎌倉新仏教などあらたな文化について理解する。</p>	

学習指導要領		都立国分寺高校 学カスタンダード
<p>ウ 中世社会の展開</p> <p>日本の諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との関係、産業経済の発展、庶民の台頭と下剋上、武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽に着目して、中世社会の多様な展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p> <p>(3) 近世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>近世の日本と世界</p> <p>ア 歴史の説明</p> <p>歴史的事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに気付かせ、それぞれの根拠や論理を踏まえて、筋道立てて考えを説明させる。</p> <p>イ 近世国家の形成</p> <p>ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係、織豊政権と幕藩体制下の政治・経済基盤、身分制度の形成や儒学の役割、文化の特色に着目して、近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みについて考察させる。</p> <p>ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容</p> <p>幕藩体制下の農業など諸産業や交通・技術の発展、町人文化の形成、欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想の動きに着目して、近世の都市や農山漁村における生活や文化の特色とその成立の背景、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成について考察させる。</p>	<p>○蒙古襲来から南北朝の内乱を経て室町幕府が成立する過程を、諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との交流などについて理解する。</p> <p>土一揆の発生から応仁の乱までの過程をとおして、庶民の台頭に着目しながら、諸産業の発展、下剋上の頻発、武家文化と公家文化の関わりや庶民文化の成長の文化の動向等について理解する。</p> <p>○山城の国一揆から織豊政権までの過程を、ヨーロッパ世界との接触に着目しながら、戦国大名の領国支配、織豊政権の特質や支配のあり方、朝鮮出兵などについて理解する。</p> <p>○山城の国一揆から織豊政権までの過程を、ヨーロッパ世界との接触に着目しながら、戦国大名の領国支配、織豊政権の特質や支配のあり方、朝鮮出兵などについて理解する。</p> <p>○幕藩体制の成立から文治政治への転換に至る過程を、鎖国に至る外交関係の推移、支配体制や身分制度、儒学の役割、文化の特色に着目して、成立期の幕藩体制の特質について理解する。</p> <p>○綱吉から新井白石までの過程を、対外関係や経済機構、交通や技術の発展、都市の繁栄に着目して、農業や商工業の発展と町人文化の形成や農山漁村の生活文化について理解する。</p> <p>○享保の改革から寛政の改革までの過程を、百姓一揆などの農民らの動向や、産業及び学問・思想のあらたな展開、欧米諸国のアジア進出などに着目して、幕藩体制の動揺について理解する。</p> <p>○水野忠成政権から天保の改革までの過程を、欧米諸国のアジア進出に着目しながら、経済の動向、都市・農村の動き、幕府・藩による政治改革、町人文化のあらたな展開などをとおして、近代への胎動について理解する。</p>	

学習指導要領		都立国分寺高校 学カスタンダード
<p>(4) 近代国家の形成と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 明治維新と立憲体制の成立</p> <p>開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、明治維新以降の我が国の近代化の推進過程について考察させる。</p> <p>イ 国際関係の推移と立憲国家の展開</p> <p>条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移に着目して、我が国の立憲国家としての展開について考察させる。</p> <p>ウ 近代産業の発展と近代文化</p> <p>国民生活の向上と社会問題の発生、学問の発展や教育制度の拡充に着目して、近代産業の発展の経緯や近代文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p> <p>(5) 近代国家の展開と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 政党政治の発展と大衆社会の形成</p> <p>政治や社会運動の動向、都市の発達と農山村の変化及び文化の大衆化に着目して、政党政治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景について考察させる。</p> <p>イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会</p> <p>国際社会の中の日本の立場に着目して、第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。</p>	<p>○開国から明治維新までの、近代日本が急速に発展する大きなきっかけとなった過程を、国内外の情勢とともに理解する。</p> <p>○殖産興業政策の推進や四民平等の実現などの制度改革の過程と、それにもなつて生まれる社会や文化の変化について理解する。</p> <p>○征韓論争から自由民権運動を経て大日本帝国憲法が成立する、近代国家成立の過程を理解する。</p> <p>○条約改正交渉と、朝鮮・中国との外交過程をとおして、日本と清国との軍事対立が避けられない情勢になっていくことを理解する。</p> <p>○日清・日露戦争から大正政変までの過程を、欧米諸国や近隣諸国との外交関係の変化に着目しながら、国内の政治や経済の動きについて理解する。</p> <p>○これらの動きに対して、思想・教育・文化・社会への影響について理解する。</p> <p>○第一次世界大戦から護憲三派内閣成立までの過程を、政党政治の展開と大戦景気及び以降の経済変動に着目しながら、欧米列強や韓国などの近隣諸国との外交関係について理解する。</p> <p>○教育の普及や社会問題の発生などに着目しながら、大正デモクラシーと大衆文化の特質について理解する。</p>	

学習指導要領		都立国分寺高校 学カスタンダード
<p>ウ 第二次世界大戦と日本 国際社会の動向、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係に着目して、対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦とのかかわりについて考察させる。</p>		<p>○昭和恐慌から満州事変を経て華北分離工作に至る過程を、政党政治と軍部の動向に着目しながら、戦時経済の成立について理解する。</p> <p>○軍部の台頭とともに、社会や大衆文化・思想の変化などに着目しながら、軍部主導の社会が生まれる過程を理解する。</p> <p>○日独伊防共協定の成立から日中戦争に至る過程を、戦時体制の進展に着目しながら、円ブロック経済圏と中国への武力進出について理解する。</p> <p>○軍部主導の社会が、社会・文化などにあたえた影響について理解する。</p> <p>○第二次世界大戦の過程を、国内の動きとともに、朝鮮・中国・東南アジア諸国への影響について理解する。 ②第二次世界大戦が、広島・長崎への原爆投下など、全世界の人々に未曾有の惨禍をあたえたことを理解する。</p>
<p>(6) 現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察させ、世界の中での日本の立場について認識させる。</p>	<p>ア 現代日本の政治と国際社会 占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。</p>	<p>○占領から日本国憲法成立までの過程を、民主化の動きに着目しながら、戦後改革や政治の動向について理解する。</p> <p>○経済の動向に着目しながら、民主化の動きがもたらす国民の生活意識や価値観の変化について理解する。</p> <p>○冷戦の開始から国際連合加盟までの過程を、政治の動向とあらたな国際関係の成立に着目しながら、占領政策の転換と、朝鮮戦争、講和条約の締結、国際社会への復帰などについて理解する。</p>

学習指導要領		都立国分寺高校 学カスタンダード
	<p>イ 経済の発展と国民生活の変化 戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p> <p>ウ 歴史の論述 社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、考えを論述する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。</p>	<p>○経済の復興の動きとともに、国民生活の変化について理解する。</p> <p>○高度経済成長の進展の過程を、政治・外交の動きとともに、高度経済成長の功罪と国際貢献のあり方などについて理解する。</p> <p>②高度経済成長がもたらす、国民生活の向上と、生活意識や価値観の変化を理解する。</p> <p>○オイルショックから現在に至る過程を、政治・外交の動きとともに、現代世界の動向と日本の課題と役割についての理解を深める。</p>